

米子港活性化施設内に「仮称・ふるさとジオパーク」の中央拠点(展示コーナー)を

- *ジオパーク案内とともに構成市町村のふるさとガイド(観光、物産、歴史)
- *斐伊川河川事務所、日野川河川事務所の各流域PR
- *島根半島・宍道湖中海ジオパーク、出雲風土記「国引き神話」紹介
- *雲伯圏の紹介(古代出雲、方言、経済、文化、地学、行政、教育等)
- *記紀神話の紹介(大国主命と少彦名命、国造り、大国主命の蘇り、粟島など)
- *中海と弓ヶ浜、島根半島美保関等の紹介 等々

参考:米子港のウォーターフロント活性化 提案内容

○企画テーマ

自然と観光、ビジネスの交流が生み出す心豊かな街づくり

・豊かな自然環境に集う「人」と「知恵」、「観光」と「ビジネス」「地域」の融和が創り出す「新しい交流拠点」。

・人々の意識や行動変容を促し人間らしさや心の豊かさを優先する未来の地方創生モデルを目指す。

○主な施設

- ・ サテライトオフィス
- ・ 海・空・道の駅による交流スペース
- ・ ホテル



<参考>提案に求めたウォーターフロント活用策の基本コンセプト

水辺を楽しむ憩いの空間 ~観光、歴史・文化、スポーツ~

◇米子港周辺の地域資源を活かし、地域の活性化に寄与する拠点づくり

◇地域住民や観光客などの来訪者を対象とした、賑わいの創出

サテライト拠点(土着的地域再生である「ふるさとジオパーク」構想。日野川流域で大国主命の再生神話の地や伝統的な地域産業資源が継承される弓ヶ浜半島からの選択例)

1. 源流とタタラの里、日南町。大石見神社に再生神話が伝わっている。旧木下家住宅はタタラ操業で財を成した旧家。その活用策が現在検討中であり、<鉄>をテーマにしたサテライト拠点が考えられる。旧家前にはフィールドミュージアムにふさわしい棚田が広がっている。
2. 蛭と再生神話の里、南部町。赤猪岩神社が再生・復活の聖地として有名。町全体が環境省の生物多様性保全上重要な里地里山に選定されている。<みどり>をテーマにしたサテライト拠点にふさわしい。施設は教育委員会のある天満庁舎が考えられる。
3. 綿と鉄の海運で栄えた町、境港市。半島での農業は水源確保の戦いであり、水運に恵まれた繁栄でもあった。汽水域もある。<水>をテーマとした拠点を、米子空港内ロビーに設置したらどうか。空、海、陸と暮らしの中の水を、伯州綿を絡めながら紹介することも一案。